

平成 30 年度決算事業等説明資料

令和元年 8 月

◆ 平成30年度 主要事業

番号	事業名	所管課	番号	事業名	所管課
【しごとをつくり、安心して働けるようにする】			19	認定子ども園整備事業	社会福祉課
1	魅力ある観光地づくり支援事業	商工観光課	20	小中一貫教育推進事業	学校教育課
2	浜町エリアの活性化に向けて (浜町にぎわいづくり推進事業・都市公園等整備事業)	商工観光課 都市住宅課	21	学校給食運営事業	学校教育課
			22	スクールバス運行事業・スクールバス購入事業	学校教育課
3	宮津の自然・歴史・文化を高め、国内及び世界へ発信する取組 (世界遺産登録推進事業、インバウンド推進事業、北前船港町まちづくり事業、丹後ちりめん創業300年事業)	商工観光課 社会教育課	23	学校教育環境の整備・充実 ～学校施設の計画的な整備の推進～ (小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業) のびのび放課後クラブ事業 ～放課後児童クラブ施設の整備～	学校教育課
4	宮津天橋立周遊観光推進事業	商工観光課			
5	重要文化的景観保護推進事業	社会教育課	24	図書館管理運営事業	社会教育課
6	観光商業施設整備事業・観光商業施設運営支援事業	商工観光課	【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】		
7	農水商工視連携推進事業	商工観光課	25	地域福祉計画の策定(福祉事務事業)	社会福祉課
8	海の地域資源活用事業	農林水産課	26	まちづくり応援事業	企画課
9	里の地域資源活用事業	農林水産課	27	KTR支援事業	企画課
10	山の地域資源活用事業	商工観光課	28	地方バス路線運行維持対策事業	企画課
【みやづを担う次代の人づくり】			【観光を基軸とした産業振興】		
11	新規就農者育成等営農体制の構築と農地利用の最適化の推進 (人・農地プラン策定事業、農地中間管理事業、新規就農者育成支援事業)	農林水産課	29	水産基盤施設の整備 (漁港整備事業・海岸保全施設整備事業)	農林水産課
12	新規就漁者育成支援事業	農林水産課	【環境保全と生活環境の向上】		
13	次世代人材育成事業	企画課	30	宮津与謝環境組合分担金	市民課
		商工観光課	【教育の充実と人材育成】		
14	介護人材確保推進事業	社会福祉課	31	市内遺跡発掘調査事業	社会教育課
【みやづへの人の流れをつくる】			【健康増進と福祉の推進】		
15	魅力あるまち“みやづ”にU I J ターン推進事業	企画課	32	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進事業	健康・介護課
		商工観光課	【暮らしの基盤の整備】		
16	市営住宅環境整備事業	都市住宅課	33	道路新設改良事業	土木管理課
【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】			34	公共土木施設災害復旧事業	土木管理課
17	地域子育て支援事業	社会福祉課	【市民との協働】		
18	結婚から出産までのトータルサポート (婚活支援事業、妊活支援事業、出産安心サポート事業)	企画課	35	議会活性化の取組(議会運営事業)	議事調査課
		健康・介護課			

◆ 平成30年度 特別会計決算概要

番号	特別会計	所管課
特1	土地建物造成事業特別会計	企画課
特2	国民健康保険事業特別会計	税務・国保課
特3	後期高齢者医療特別会計	税務・国保課
特4	介護保険事業特別会計	健康・介護課
特5	介護予防支援事業特別会計	健康・介護課
特6	下水道事業特別会計	上下水道課
特7	休日応急診療所事業特別会計	健康・介護課
特8	財産区特別会計	農林水産課
特9	水道事業会計	上下水道課

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略							
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする									
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算				
				国庫支出金					府支出金	市 債	その他	一般財源		
53,854 千円	55,687 千円	55,672 千円	50,894,000	48,285,583	7,568,000	5,820,000		25,868,000	9,029,583	47,658 千円				
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容										
背景 経緯	H27.7: 京都縦貫自動車道の全線開通 H27.7~11: 海の京都博の開催 H28.6: (一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社 (以下「海の京都DMO」)の設立 H28.8: (公社) 天橋立観光協会が海の京都DMOに統合参画 (以下「海の京都DMO天橋立地域本部」)			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■海の京都DMOの運営に係る負担金 19,670,000円(事業費: 212,111,000円) 海の京都エリアの一体的な情報発信、プロモーション、インバウンド事業、マーケティング調査など ・海外向け商談会11回(商談数303件)、旅行博出展5ヶ国、着地型旅行商品数262商品 ■海の京都DMO天橋立地域本部に対する支援 25,310,654円 <ul style="list-style-type: none"> ○宮津市観光振興交付金 12,934,000円(事業費: 30,144,153円) 天橋立地域本部の活動強化を通じて誘客拡大による入湯税増加への好循環化を目指し、観光誘客に資する事業に対して支援 ○観光地域づくり推進事業(宮津市観光推進会議) 736,654円 講演会(2回) <ul style="list-style-type: none"> ・「着地型観光でまちの魅力を発信」～観光客に選ばれる観光地づくり～ 講師: 西谷雷佐 ・「おもてなしのまち みやづ」のまちづくり～あなたも観光ガイドになるう～ 講師: 森なおみ ○丹後観光情報センター運営事業 10,140,000円(事業費: 10,140,737円) 天橋立駅での観光案内業務及び外国人観光客への案内体制の強化への支援 ○観光パンフレット等作成事業 1,500,000円(事業費: 3,000,000円) 季節ごとの観光情報、旅行商品を掲載したパンフレット作成等を支援 ■地域おこし協力隊の配置 3,304,929円 天橋立アクティビティセンターに地域おこし協力隊1名を配置 									
	目的 目標	日本の顔となる観光地を目指し、天橋立に代表される観光資源の活用並びに海の京都DMO及び海の京都DMO天橋立地域本部と連携して、観光入込客の増加、観光消費額の拡大を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・海の京都DMOにより、各種調査の分析に基づいた観光プロモーション等が展開された。 ・天橋立地域本部への支援を通じて、国内外観光客への案内業務や広報宣伝を図ることができた。また天橋立アクティビティセンターにおいて、体験型観光商品の造成や販売を行い、滞在時間延長や消費拡大につながる新たな天橋立の魅力づくりを進めることができた。 <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光交流人口 H30目標: 294万人 ⇒ H30実績: 約297万人 (H31目標: 300万人) ■外国人観光客宿泊数 H30目標: 4.3万人 ⇒ H30実績: 約4.2万人 (H31目標: 5.0万人) ■観光消費額 H30目標: 133億円 ⇒ H30実績: 95億円 (H31目標: 150億円) 								
期待される効果				課題 検証		<ul style="list-style-type: none"> ・海の京都DMOが実施する観光調査結果を活用した事業展開や観光プロモーションを活用したインバウンド事業の強化 ・観光消費額増加のため、地域で稼ぐ力の創出の仕組みづくり 								
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、観光、商工関係者と協議し、協力しながら、広域観光を推進 ・宮津市観光推進会議への参画 				担当部・課・係		産業経済部 商工観光課 観光係	TEL	45-1625	1				

令和元年9月定例会


平成30年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	浜町エリアの活性化に向けて (浜町にぎわいづくり推進事業・都市公園等整備事業)				ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
					総合戦略 政策パッケージ		1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算		
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
42,834 千円	128,902 千円	157,492 千円	157,465,000	155,086,552	18,996,000	4,200,000	92,200,000	14,897,440	24,793,112	58,337 千円		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背景 経緯	H26:浜町立体駐車場の取得(市営化) H27:観光交流センターオープン、道の駅登録 宮津まちづくり会議報告書の提出 H28:地域振興拠点の具体化に向けた宮津商工会議所による 事業パートナーの選定 H29:道の駅内にパイロット事業施設「おさかなキッチンみやづ」オープン 島崎公園の改修・整備に着手(実施設計・工事)				事業実績	■浜町にぎわいづくり推進事業 62,399,512円 ○観光交流センター及び立体駐車場の運営 24,407,512円 ・丹後観光の玄関口として、観光交流センターの利用促進を図った。 立体駐車場利用実績 203,901台 観光交流センター案内件数 21,224件 レンタサイクル利用実績 1,450件 ○魅力ある集客ゾーンの具体化の推進 37,992,000円 ①地域振興拠点の実現に向けたパイロット事業 13,368,000円 ・地域振興拠点具体化事業 宮津商工会議所及びその事業パートナー(ハマカゼプロジェクト㈱)が パイロット事業施設(おさかなキッチンみやづ)の運営に取り組んだ。 レジ通過人数 52,346人 ・宮津まちづくり会議等運営事業 宮津まちづくり会議の開催(1回) ②パイロット事業施設リース料 23,328,000円 ③地域振興拠点マーケティング業務 1,296,000円 ・道の駅に関するマーケティング業務(来訪者調査、HP・SNSによる情報発信 等)の実施 ■都市公園等整備事業(島崎公園の改修・整備) 92,687,040円 ・浜町地区の賑わいづくりにあわせ、島崎公園をより利用しやすく、親しみを 持てる公園とするため、平成29年度に引き続き、2期工事として芝生広場を 整備した。 島崎公園整備工事 92,687,040円						
	目的 目標	浜町周辺(地域振興拠点)を「魅力ある集客ゾーン」として いく。				成果	・道の駅来訪者が増加しており、浜町地区のにぎわい創出やまちなか観光に寄与した。 ・道の駅来訪者数: H28 81,190人、H29 123,868人、H30 162,965人 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光交流人口 H30目標: 294万人 ⇒ H30実績: 296万人 (H31目標: 300万人)					
	期待 される 効果					課題 検証	・パイロット事業施設の安定的な運営 ・浜町を起点とした更なるまちなかの賑わい創出 ・丹後観光の玄関口にふさわしい景観創出					
	市民参加 の状況	■島崎公園の再整備の検討 ・H29.7~9 意見交換会 ・H29.9~10 パブリックコメントの実施 ・H30.1 市民報告会				担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 商工係 建設部 都市住宅課 都市計画係	TEL	45-1663 45-1630	2		

事業名	宮津の自然・歴史・文化を高め、国内及び世界へ発信する取組 (世界遺産登録推進事業、インバウンド推進事業、北前船港町まちづくり事業、丹後ちりめん創業300年事業)				ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興 環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	自立循環型经济社会構造への転換戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする				
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R1予算
2,148 千円	6,909 千円	7,871 千円	8,321,000	8,053,600	750,000	308,000		3,044,235	3,951,365	3,932 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
背景 経緯	H19. 9: 天橋立の世界遺産暫定リスト登録を文化庁に申請(府・1市2町共同) H19. 12: 市民主体の活動組織「天橋立を世界遺産にする会」設立 H20. 9: 文化庁、暫定リスト審査結果発表。次点の「1a」評価。 H26. 7: 「北前船寄港地フォーラムin宮津・京都」開催(西日本エリアでの初開催) H28. 11: 「世界で最も美しい湾クラブ」正式加盟決定(第12回総会・メキシコ) H29. 4: 「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」日本遺産認定 H29. 5: 「北前船寄港地日本遺産登録推進協議会」(H28. 6発足)が解散、「北前船日本遺産推進協議会」発足				事業実績	■天橋立世界遺産登録の推進 1,427,260円 ・天橋立世界遺産登録可能性検討委員会(京都府との連絡調整) 11,260円 ・天橋立を世界遺産にする会補助金 1,416,000円 講演会開催(2月24日/行政共催)、普及パンフレットの改訂・増刷(25,000部)など ■世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンドの推進 2,421,113円 ・京都宮津湾・伊根湾クラブ補助金 1,090,000円 モン・サン＝ミシェルとの姉妹湾連携事業(調印式、チラシ等の作成、ツアー受入) ・世界で最も美しい湾クラブ連携 1,020,316円 総会(4月フランス、9月台湾)への出席、国内湾連携(富山湾シンポジウムへの参加) ・湾クラブ年会費 310,797円 ■北前船文化を活かした観光地域づくり 4,074,227円 ・北前船まちづくり委員会補助金 1,500,000円 日本遺産追加認定セレモニーやシンポジウム、勉強会等の実施 ・北前船日本遺産推進協議会等への負担金 1,604,797円 ・北前船寄港地フォーラムや協議会会議等への参加 969,430円 ■丹後地域のものづくり文化を活かした魅力発信 131,000円 丹後ちりめん創業300年事業実行委員会への負担金				
目的 目標	天橋立を地域の宝として世界に発信していくため、世界遺産登録に向けた活動の推進、世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンド観光戦略の推進、北前船文化を活かしたまちづくりの推進、丹後ちりめん創業300年事業の実施などの各種取組を一体的に取り組む。				成果	・講演会等により天橋立の世界遺産登録への関心と理解を深めるとともに、PR活動などが行われた。 ・世界遺産であるフランスのモン・サン＝ミシェル湾との姉妹湾協定締結により、共同チラシやポスター作成をすることで、観光誘客のための国内外への情報発信の相互連携を図ることができた。 ・「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」日本遺産に追加認定され、宮津市街地や由良地区の観光まちづくりに資する取組を進めることができた。				
期待される効果	・天橋立の保全継承 ・天橋立、宮津湾の国内外への幅広い情報発信 ・北前船関連資源の観光資源化				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光交流人口 H30目標:294万人 ⇒ H30実績:約297万人(H31目標:300万人) ■外国人観光客宿泊数 H30目標:4.3万人 ⇒ H30実績:約4.2万人(H31目標:5.0万人)					
市民参加の状況	・天橋立を世界遺産にする会、北前船まちづくり委員会は、市内の事業者や各団体、自治連、住民など、各層で構成 ・天橋立の一斉清掃、市民による北前船の取組など、種々の取組に主体的に参画、参加				課題 検証	・世界遺産への登録のための取組や日本遺産の構成資産について、市民の認知度向上と観光誘客のための事業展開				
担当部・課・係					教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係 産業経済部 商工観光課 商工係、観光係	TEL	45-1642 45-1663 45-1625	3		

事業名	宮津天橋立周遊観光推進事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					
									R1予算	
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
18,812 千円	10,635 千円	9,366 千円	9,366,000	9,278,000	4,450,000			4,828,000	4,200 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	H27 : 観光交流センター開設、道の駅登録、海の京都博を開催(7.18~11.15) 天橋立パーク&クルーズの実施 天橋立砂浜ライトアップ実証実験 成相寺紅葉ライトアップ開催 H28~: 天橋立パーク&クルーズの継続実施 天橋立砂浜ライトアップ及び成相寺紅葉ライトアップの継続実施			事業実績	■海を活用した天橋立周遊の実施 6,278,000円 丹後観光のゲートウェイとして、浜町地区を起点とした周遊ルートを構築するなど、ゴールデンウィーク等の渋滞緩和を含めた、新たな海上交通を活用した観光コースの定着に向けた取組を実施した。 ・観光船利用実績 8,603人(大人7,519人 小人1,084人) ※H29:7,854人 ・臨時駐車場実績(府中小学校) 5/4:178台、5/5:145台、1/1~3:892台 ■夜の賑わい創出 3,000,000円 夜の賑わいを創出するため、「海の京都」天橋立地区協議会が実施する「天橋立砂浜ライトアップ」、「成相寺紅葉ライトアップ」事業を支援した。 ○天橋立まち灯り(天橋立砂浜ライトアップ) 7月14日~9月2日 ・場 所: 天橋立砂浜約1km、小天橋周辺松並木 ・来場者数: 約35,000人 ・連携事業: 天橋立まち灯りぶらり散策(主催:天橋立文珠繁栄会) 和傘燈籠、天橋立運河水中ライトアップ、智恩寺山門前イベント、砂浜Bar等実施。 協賛店が夜の営業を実施。 ○成相寺紅葉ライトアップ 11月10日、11日 ・場 所: 成相寺、元伊勢籠神社 ・来場者数: 約2,000人					
	目的 目標	本市における観光客の滞在時間を延ばし観光消費額を増加させるため、海上交通を活用した周遊ルートの構築及び夜の賑わい創出を推進し、周遊型・滞在型観光への転換を図る。			成果	・「天橋立パーク&クルーズ」について、GWは、宮津市街地からの観光船での輸送人員は増加傾向にあり、天橋立周辺の渋滞緩和と、新たな観光スタイルの提供を図ることができた。 ・「天橋立まち灯り」、「成相寺紅葉ライトアップ」については、地域の商店街や観光事業者との連携により、夜の賑わいの創出が図られた。 ※夜の賑わい創出の経済効果推計: 約58,493千円 (店舗消費額、宿泊消費等)				
期待される効果				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光交流人口 H30目標: 294万人 ⇒ H30実績: 約297万人 (H31目標: 300万人) ■観光消費額 H30目標: 133億円 ⇒ H30実績: 95億円 (H31目標: 150億円)						
市民参加 の状況	地域住民、観光、商工関係者と協議し、協力しながら賑わいづくりを実施			課題 検証	・より一層の渋滞緩和に向けては、GW等の繁忙期の観光船臨時便の運航と併せて、天橋立周辺の臨時駐車場の確保と、その運営の自立化の検討が必要。 ・浜町地区において、乗船前又は下船後の観光客が商業施設等を利用する流れを作るため、施設との一層の連携が必要。 ・「夜の賑わい創出」では、引き続き商店街の夜間営業の可能性を検証					
					担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 観光係	TEL	45-1625	4	

事業名				ビジョン基本施策		ビジョン重点戦略		自立循環型経済社会構造への転換戦略		
重要文化的景観保護推進事業				総合戦略政策パッケージ		1. しごとをつくり、安心して働けるようにする				
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
46,930 千円	23,000 千円	22,500 千円	22,500,000	13,600,000	6,800,000			5,500,000	1,300,000	6,000 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<p>【選定経緯】 H26.3: 府中地区が「宮津天橋立の文化的景観」として国の選定を受ける。 H27.1: 文珠地区が追加選定を受ける。</p> <p>【修景整備】 「重要な構成要素」となった建造物等の修景整備事業を実施。 26年度(1件)・27年度(2件)・28年度(3件)・29年度(3件)</p>			<p>事業実績</p> <p>■重要文化的景観整備事業 11,585,000円(市補助額) ※29年度より所有者等実施事業に対する補助金として支出(事業費1/2:上限10,000千円) ○真名井神社(第3期) 事業費:50,413,660円(市補助額:10,000千円) ○傘松ケーブル(災害復旧) 事業費:1,190,000円(市補助額:595千円) ○一の宮駅(災害復旧) 事業費:980,000円(市補助額:490千円) ○溝尻舟屋(実施設計) 事業費:1,000,000円(市補助額:500千円)</p> <p>■普及啓発事業 69,340円 ○ブラミヤヅ(市街地まち歩き) ・11月(全2回、延べ60人) ○文化的景観フォーラム「宮津祭と宮津城下」 ・講師:松田法子氏(京都府立大学准教授)ほか ・12月2日(日) 200人参加</p> <p>■調査事業 1,945,660円 ○整備計画立案に関する事前調査(溝尻舟屋第4次) ○保存計画策定支援業務 ○文化的景観検討委員会の開催(有識者で構成)</p>						
	目的 目標	<p>当地の豊かな自然・歴史に育まれた地域景観の価値を明らかにし、後世に伝えるとともに、歴史文化を活かした地域づくりを推進する。</p>			<p>成果</p> <p>■重要文化的景観整備事業 ・重要な構成要素である真名井神社の保全を図るとともに、価値の向上を図ることができた。 ・重要な構成要素である傘松ケーブル、一の宮駅において災害復旧を行った。</p> <p>■普及啓発事業 ・選定を目指す宮津市街地について、文化的景観の保全や、歴史・文化的資源を生かしたまちづくりへの気運醸成を図ることができた。</p> <p>■整備計画立案に関する事前調査 ・今後の整備計画立案や整備事業の方針について、知見を得ることができた。</p>					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史的成り立ちの解明と価値付け ・市民の郷土意識と誇りの涵養 ・歴史的建造物の修景、魅力的な景観の創出 ・世界遺産登録推進に向けた地域の価値付け 			<p>課題 検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定を受けた府中、文珠地区において「整備計画」を策定する必要がある。 ・宮津市街地の選定に向け住民理解を深めるとともに「保存計画」を策定する必要がある。 						
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムの開催(23年度~28年度) 延べ約540人参加 ・ブラミヤヅ(29年度) 市街地のまち歩き企画 4回実施 まち景観形成協議会との連携事業 延べ約200人 			<p>担当部・課・係 教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係</p>		TEL	45-1642	5		

事業名	観光商業施設整備事業・観光商業施設運営支援事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳				R1予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
7,452 千円	91,346 千円	120,000 千円	123,000,000	122,241,062	35,500,000	1,500,000	79,800,000		5,441,062	3,000 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<p>卸売事業者の減少により、宮津市食品卸売センター機能が低下する中で、当該センターを観光商業施設に転換する。 H24：社会資本整備総合交付金(まちづくり交付金)採択(H24～H28の5か年計画) H25：観光商業施設用地(宮津市食品卸売センター底地)を購入 H28：観光商業施設整備に向けた基本設計、先行改修整備(トイレ) H29：観光商業施設整備に向けた実施設計、外装工事、宮津漁師町観光商業センター条例の制定</p>			事業実績	<p>■観光商業施設整備事業 119,241,062円 ○宮津漁師町観光商業センターに係る改修工事 112,714,838円 ・施設内装工事 ・駐車区画線工事など ○宮津漁師町観光商業センターに係る備品購入 3,937,572円 ・体験工房に必要なちくわ焼機等の購入 ○宮津漁師町観光商業センターに係る看板整備等 2,588,652円 ・入口看板、誘導看板等の整備など</p> <p>■観光商業施設運営支援事業 3,000,000円 宮津漁師町観光商業センターの集客力向上のため、指定管理者(宮津フードファクトリー合同会社)が行う、PRに要する経費の一部を支援。 ○取組内容 ・チラシの折込、看板・のぼりの製作、情報誌の製作 ・ホームページや情報誌の作成 ・旅行会社へのアプローチ ・イベントの開催など</p>					
目的 目標	<p>浜町(まちなか)から天橋立の中間点に位置する宮津市食品卸売センターを誘客・商業施設に改修整備することで、全線開通した京都縦貫自動車道や海の京都観光圏の取組等によって増加傾向にある来訪者に立ち寄っていただき、観光消費額の拡大を図り、市内産業の活性化及び地域経済力を高める。</p>			成果	<p>宮津の獲れたての魚を使った食事や煉製品の体験など、宮津の食や産品を発信する浜町と文珠をつなぐ新たな立ち寄り施設として整備が完了し、平成30年11月21日にオープン。(施設来場者数：16,805人)</p> <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光消費額 H30目標：133億円→H30実績：95億円(H31目標：150億円)</p>					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光消費額の拡大 地元農林水産物等流通の円滑化と市内産業の活性化 			課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> 更なる誘客推進による施設の安定的な運営 浜町(まちなか)及び天橋立との周遊連携の強化 					
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者による出店、出品 市内事業者による施設運営会社の設立 			担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1663	6		

事業名	農水商工観連携推進事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳				R1予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
20,754 千円	9,041 千円	8,228 千円	8,309,000	8,255,282	2,520,000	1,607,000			4,128,282	2,482 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	H26.3: 宮津農水商工観連携会議の発足 H27: 商品の開発・改良(7品目) ・商品PRパンフレット・食べ歩きマップの発行 H28: 商品の開発・改良(9品目) 地域ブランド「宮津遺産」の創設・認定(4品目を認定) H29: 商品の開発・改良(16品目) 地域ブランド「宮津遺産」の認定(4品目を認定)			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津農水商工観連携会議の活動支援 5,000,000円 ・土産物の試作や商品化、宮津遺産の認定、地産地商(消)などの活動を支援 ■料理メニュー・特産品開発アドバイザー事業(大和学園連携事業) 434,282円 ・大和学園の講師を4事業者に延べ7回派遣 ■特産品等振興事業補助金事業 2,780,000円 ①製品の新規開発・改良 4件(うち2件は②とセット、1件は③とセット) ②生産体制の整備拡充 4件 ③新規販路開拓 1件 計9件(6事業者) ■農商ビジネス商談会(北部地域連携都市圏地域産業活性化プロジェクト) 41,000円 ・北部7市町が合同で実施したビジネス商談会(舞鶴市1回)の開催経費の一部負担 					
目的 目標	農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、6次産業化、地産地商(消)等をさらに推進し、地域経済力を高めるための自立循環型経済社会構造への転換を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津農水商工観連携会議において、市内の事業者と商品開発・改良を進め、5品が新たに完成したほか、宮津遺産1産品を追加認定した。 ・アドバイザー事業や補助金支援により、6品の料理メニュー、6品の特産品等が開発・改良がされるとともに、生産体制の拡充や販売促進が図られた。 					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなお土産物開発による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光消費額 H30目標: 133億円 → H30実績: 95億円 (H31目標: 150億円)					
市民参加の状況	宮津農水商工観連携会議は、市内の各分野の機関・団体等が参画し、協議検討を進めている。			課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・商品づくりの人材の確保と将来性や市場性の高い特産品等の開発が必要 					
				担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1663	7		

事業名	海の地域資源活用事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略																																	
				総合戦略 政策パッケージ				1. しごとをつくり、安心して働けるようにする																																
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算																														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																															
9,355 千円	5,229 千円	7,576 千円	7,484,000	4,762,107	307,000				4,455,107	1,101 千円																														
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																				
背景 経緯	<p>漁獲量の減少や魚価の低迷などによる漁業経営の不安定を解消するため、つくり育てる漁業による生産拡大のほか、京のブランド産品「丹後とり貝」や育成岩がき、ナマコ、クロアワビなど、ブランド水産物の生産拡大が強く求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.4 : 京都産ナマコブランド協議会の設置 ・H29.11 : 京都府立海洋高等学校が人工種苗生産に係る研究を行い成功 			事業実績	<p>■元気な海づくり推進事業 1,528,000円 京都府漁業協同組合が実施する原木魚礁の設置等を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 内 容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原木魚礁設置事業</td> <td>宮津湾内及び黒崎沖合 原木魚礁421セット</td> <td>1,583,280円</td> <td>340,000円</td> </tr> <tr> <td>漁場整備事業</td> <td>宮津湾内</td> <td>900,000円</td> <td>450,000円</td> </tr> <tr> <td>種苗放流事業</td> <td>阿蘇海ウナギ48Kg、阿蘇海(溝尻)サザエ10,100個、宮津湾(江尻)</td> <td>739,976円</td> <td>360,000円</td> </tr> <tr> <td>岩がき育成筏設置事業</td> <td>育成筏施設(12×8m)2基分、栗田湾内</td> <td>2,451,712円</td> <td>378,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ナマコ資源の活用及び価値向上に対する支援 614,698円 資源の確保や生産拡大を図るための増殖試験や販路開拓等を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資源の増殖・育成実証</td> <td>カキ殻魚礁の設置・調査(小型魚礁8基)、天然採苗の試験実施</td> <td>458,898円</td> </tr> <tr> <td>販路開拓</td> <td>インバウンド向けパンフレット作成等</td> <td>155,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■地域おこし協力隊の配置 2,619,409円 地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るために配置した地域おこし協力隊の活動を支援した。 ・ナマコ加工の生産活動(1名・継続(H27.12~H30.12))</p>							区 分	事 業 内 容	事業費	補助金額	原木魚礁設置事業	宮津湾内及び黒崎沖合 原木魚礁421セット	1,583,280円	340,000円	漁場整備事業	宮津湾内	900,000円	450,000円	種苗放流事業	阿蘇海ウナギ48Kg、阿蘇海(溝尻)サザエ10,100個、宮津湾(江尻)	739,976円	360,000円	岩がき育成筏設置事業	育成筏施設(12×8m)2基分、栗田湾内	2,451,712円	378,000円	区 分	事 業 内 容	事業費	資源の増殖・育成実証	カキ殻魚礁の設置・調査(小型魚礁8基)、天然採苗の試験実施	458,898円	販路開拓	インバウンド向けパンフレット作成等	155,800円
	区 分	事 業 内 容	事業費		補助金額																																			
原木魚礁設置事業	宮津湾内及び黒崎沖合 原木魚礁421セット	1,583,280円	340,000円																																					
漁場整備事業	宮津湾内	900,000円	450,000円																																					
種苗放流事業	阿蘇海ウナギ48Kg、阿蘇海(溝尻)サザエ10,100個、宮津湾(江尻)	739,976円	360,000円																																					
岩がき育成筏設置事業	育成筏施設(12×8m)2基分、栗田湾内	2,451,712円	378,000円																																					
区 分	事 業 内 容	事業費																																						
資源の増殖・育成実証	カキ殻魚礁の設置・調査(小型魚礁8基)、天然採苗の試験実施	458,898円																																						
販路開拓	インバウンド向けパンフレット作成等	155,800円																																						
目的 目標	<p>ナマコなど「海」の地域資源を活用し、魅力ある新商品の開発を行うとともに、水産物の生産と需要の拡大を進め、漁業経営の安定化や就業者等雇用の創出につなげる。</p>			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・つくり育てる漁業を推進することにより、獲る漁業との複合経営による経営の安定化及び資源管理を進めることができた。 ・ナマコ加工の人材を育成することができた。 <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■ナマコ等育成水産物の出荷額 H30目標: 3,200万円 ⇒ H30実績: 2,336万円 (H31目標: 3,600万円)</p>																																			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・つくり育てる漁業の推進による漁業所得等の向上 ・加工事業者の増加による雇用の創出 ・外国人観光客をターゲットにした外貨獲得 				課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物の安定生産に向けて、生産者・関係機関等の連携が引き続き必要。 																																		
市民参加の状況				担当部・課・係		産業経済部	農林水産課	農林水産係	TEL	45-1626	8																													

事業名	里の地域資源活用事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略																								
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする																										
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算																					
				国庫支出金					府支出金	市 債	その他	一般財源																			
10,746 千円	38,203 千円	42,000 千円	42,000,000	39,550,049	11,414,000	500,000		13,000,000	14,636,049	12,225 千円																					
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																											
背景 経緯	H25～26：オリーブ栽培の実証を開始 H27：経営戦略の策定、日伊文化交流協会(IJ)との連携協定の締結、実証結果を踏まえ栽培の開始、加工品生産基盤整備の支援 H28～：栽培・加工技術の向上やブランド化、販路開拓等全体をマネジメントし、宮津のオリーブ産業を牽引する「オリーブオイル宮津」の立ち上げに向けた準備室の設置			■オリーブオイル宮津(OOM)の運営支援 22,489,521円 ・生産者等へのサポート体制の強化を図り、生産拡大等を促進するマネジメント組織「オリーブオイル宮津(OOM)」の運営支援 21,036,877円 ・剪定や施肥技術等を学ぶ栽培講座の開催を支援(2回) 1,452,644円 ■オリーブの生産拡大に対する支援 6,089,460円 生産者に対して、苗木等購入等の初期費用を支援。オイル品質の向上を図る備品を購入。																											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内容・対象者等</th> <th>補助等金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栽培導入事業</td> <td>苗木及び支柱/1団体・17人</td> <td>2,586,000円</td> <td>補助率:2/3</td> </tr> <tr> <td>農地再生事業</td> <td>24圃場/1団体・12人</td> <td>2,286,300円</td> <td>補助率:定額又は1/2</td> </tr> <tr> <td>土壌分析調査</td> <td>11箇所</td> <td>677,160円</td> <td>オリーブオイル宮津へ委託</td> </tr> <tr> <td>品質向上事業</td> <td>オリーブオイルフィルター2台</td> <td>540,000円</td> <td>市備品を貸与</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内容・対象者等	補助等金額	備 考	栽培導入事業	苗木及び支柱/1団体・17人	2,586,000円	補助率:2/3	農地再生事業	24圃場/1団体・12人	2,286,300円	補助率:定額又は1/2	土壌分析調査	11箇所	677,160円	オリーブオイル宮津へ委託	品質向上事業	オリーブオイルフィルター2台	540,000円
区 分	内容・対象者等	補助等金額	備 考																												
栽培導入事業	苗木及び支柱/1団体・17人	2,586,000円	補助率:2/3																												
農地再生事業	24圃場/1団体・12人	2,286,300円	補助率:定額又は1/2																												
土壌分析調査	11箇所	677,160円	オリーブオイル宮津へ委託																												
品質向上事業	オリーブオイルフィルター2台	540,000円	市備品を貸与																												
目的 目標	オリーブの生産拡大、技術の向上、栽培者の育成等を支援することにより、オリーブの産業化を図るとともに、雇用の創出につなげる。			■地域おこし協力隊の配置 10,971,068円 地域おこし協力隊の活動支援:オリーブ生産・加工等(継続3名(H28.4～, H29.4～, H29.9～)) 【議会からの意見及び対応内容】 (H27年9月議会)・今後はしっかりとした事業構想を立てて事業を進められたい。 (H29年3月議会)・マネジメント組織を含め、全体の役割分担が明確になるよう整理されたい。 (対応内容)・経営戦略を策定するとともに、栽培指導、普及啓発、販路開拓等を行うOOMと協議しながら事業を進めた。																											
期待される効果	・新たな特産品開発 ・観光消費額の拡大や全国展開等による外貨獲得 ・生産者や加工事業者の増加による地域雇用の創出			成果 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI】 ■オリーブの植栽数・出荷量 H30目標：2,700本、出荷量1.4 → H30実績：931本(累計2,635本)、出荷量0.28t (H31目標：10,000本、出荷量2.6t)																											
市民参加の状況	由良地区では由良オリーブを育てる会が、日置・下世屋では日置世屋オリーブを育てる会が組織され、取り組まれている。宮津地区など他地区の農業者へも栽培の取組が広がっている。			課題 検証 ・品質の維持・向上、ブランド力を高めるため、生産者の連携をより密にしていこうことが重要。																											
				担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626			9																					

事業名	山の地域資源活用事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳				R1予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
6,933 千円	3,395 千円	5,860 千円	5,860,000	5,198,400	1,404,000	2,177,096			1,617,304	2,374 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	H21～H23:「宮津環境産業創出研究会」支援 H22 :竹林再生整備計画(32自治会、173か所、164ha)の 策定 H22～H24:「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」 支援 宮津バイオマスエネルギー製造事業所建設 (H23.8竣工)、技術実証 H27 :「地域竹林整備隊」編成、「竹の買取制度」創設、 連続炭化装置の研究開発への支援 H28 :民間事業者による竹資源管理センターの運営			事業実績	■放置竹林の整備と竹のカスケード利用の促進 5,198,400円 ○放置竹林の整備(百合が丘地区ほかA=2.0ha) 2,808,000円 ○竹林整備隊の強化拡充 2,390,400円 ・貸与機器の購入(竹割機、突出し機ほか) ・新規隊員の安全講習(受講者6人)など					
	目 的 目 標	放置竹林の整備による森林環境の改善を図るとともに、山 の地域資源「竹」を有効に活用する民間事業者の内発型事業 を推進する。 併せて関連企業の誘致に取り組み、地域雇用機会の創出と 地域経済の活性化を図る。			成 果	■森林環境の改善 ・放置竹林の整備(2.0ha:百合が丘地区、大西地区、大垣地区)により森林環境 の改善が図られた。 ■竹のカスケード利用によるビジネスモデルの産業化 ・竹資源管理センターを中心に、竹チップ・竹粉等の販売が行われた。 ■地域竹林整備隊の強化拡充 ・個人42人、団体1団体、法人5社が登録(うち新規個人7人、法人2社) ・伐採・搬出等の技術の向上 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■竹の一次加工品出荷量 H30目標:370t ⇒ H30実績:42.6t (H31目標:450.0t)				
期 待 さ れ る 効 果	・森林環境の改善(竹林の再生) ・竹に関する情報の収集、加工技術の開発・集積と新たな産業 の創出、雇用の拡大			課 題 検 証		・竹資源の持続的な利用のための更なる伐採搬出コストの削減 ・新たな加工品、技術の研究開発による竹の高付加価値化 ・竹事業に関する民間企業の誘致				
市民参加 の状況	・地権者、関係者の竹伐採への協力 ・土地の使用及び竹の無償提供 ・地権者、関係者の承諾に対する自治会の全面協力				担 当 部 ・ 課 ・ 係		産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1663	10

(単位:円)

事業名	新規就農者育成等営農体制の構築と農地利用の最適化の推進 (人・農地プラン策定事業、農地中間管理事業、新規就農者育成支援事業)			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型经济社会構造への転換戦略																							
				総合戦略 政策パッケージ	2. みやづを担う次代の人づくり																									
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳																									
									R1予算																					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																						
10,838 千円	10,888 千円	9,202 千円	10,306,000	10,072,440		7,957,440		1,915,000	200,000	10,462 千円																				
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																										
背景 経緯	<p>就農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの問題に対応するため、地域の話し合いを通じた合意形成による人・農地プランの策定を推進するとともに、担い手の育成・確保等への取組に対して支援を行っている。</p> <p>H26.6: 農地中間管理機構(農地の貸し手と借り手をつなぐ中間的受け皿となる組織)を通じて、農地の利用権を担い手へ集約する農地中間管理事業が開始</p> <p>H28.4: 農地利用の最適化を進めるため農地利用最適化推進委員の新設等の新たな農業委員会制度が開始</p> <p>H29.7: 宮津市農業委員会組織体制の変更 (農業委員22人 → 農業委員14人、推進委員10人) ※農地利用最適化推進委員: 担当区域における農地等の利用の最適化推進のために、主として現場活動を行う。</p>			<p>■人・農地プランの策定 400,000円</p> <p>○H30年度策定状況: 3地域(6集落)のプラン策定・更新 (策定: 金山・小香河・古心、港・浜野路 更新: 田原)</p> <p>■農地中間管理事業を活用した農地の集約 3,672,440円</p> <p>○機構集積協力金 1,395,640円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>貸付割合</th> <th>新規集積単価・面積</th> <th>新規集積以外単価・面積</th> <th>交付額計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小田宿野</td> <td>44%</td> <td>10,000円/10a</td> <td>103a</td> <td>324,880円</td> </tr> <tr> <td>溝尻・国分</td> <td>43%</td> <td>68a</td> <td>4,300円/10a</td> <td>384,480円</td> </tr> <tr> <td>松尾</td> <td>71%</td> <td>14,000円/10a</td> <td>-</td> <td>686,280円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農地集積助成金 361,800円 農事組合法人久理陀ファーム 402a × 9,000円/10a</p> <p>○農地中間管理事業に係る受託業務 1,915,000円 窓口業務、農地利用配分計画案の作成などの業務を(一社)京都府農業会議から受託</p> <p>■営農体制の構築に向けた取組への支援 6,000,000円</p> <p>○新規就農者の育成支援 6,000,000円 次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)の給付 青年農業者(45歳未満)4人</p>							地区	貸付割合	新規集積単価・面積	新規集積以外単価・面積	交付額計	小田宿野	44%	10,000円/10a	103a	324,880円	溝尻・国分	43%	68a	4,300円/10a	384,480円	松尾	71%	14,000円/10a	-	686,280円
	地区	貸付割合	新規集積単価・面積	新規集積以外単価・面積	交付額計																									
小田宿野	44%	10,000円/10a	103a	324,880円																										
溝尻・国分	43%	68a	4,300円/10a	384,480円																										
松尾	71%	14,000円/10a	-	686,280円																										
目的 目標	<p>「人・農地プラン」の策定を推進し、そのプランに基づき地域の農業を支える担い手等への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等を進め、持続可能な営農体制の構築や農地の利用促進を図る。</p>			<p>・新規就農者の育成 4人 新規就農者の就農直後の不安定な経営を支援し、農業経営の安定が図られた。</p> <p>・担い手への農地集積 農地中間管理機構を通じて担い手等へ約25.6haの農地が集積された。</p>																										
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地の集積・集約化 遊休農地の発生防止・解消 新規参入の促進 			<p>成果</p> <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■新規就農就漁者 H30目標: 6人 ⇒ H30実績: 3人(累計: 6人) (H31目標: 5年間で20人)</p>																										
市民参加の状況	<p>人・農地プラン策定や貸し手と借り手のマッチングのための地域における話し合い</p>			<p>課題 検証</p> <p>・地域農業の担い手を確保するため、地域農業のあり方について、地域での話し合いを進め、新規就農者に対する地域の受入体制と指導者の確保を更に図っていく必要がある。</p>																										
	担当部・課・係				産業経済部	農林水産課	農林水産係	TEL	45-1626	11																				

(単位:円)

事業名	新規就漁者育成支援事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略						
				総合戦略 政策パッケージ	2. みやづを担う次代の人づくり								
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳								
				国庫支出金					府支出金	市 債	その他	一般財源	R1予算
150 千円	270 千円	1,525 千円	2,425,000円	2,335,000						2,335,000	1,495 千円		
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容									
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.4: 京都府海の民学舎が開設 ・H28.4: 1期生の2名が本市(栗田地区・養老地区)で独立型漁業研修を開始 ・H29.4: 1期生のうち養老地区1名が就業 2期生の1名が養老地区で研修を開始 ・H30.4: 3期生の1名が栗田地区で研修を開始 1期生のうち栗田地区1名が就業 			事業実績	<p>■海の民学舎運営協議会への負担金 495,000円 新規漁業就業者の育成や若手・中堅漁業者の経営力の向上を図る実践型研修機関として開設した「海の民学舎」を運営 運営主体: 海の民学舎運営協議会(漁業団体、京都府、沿海市町等で構成) ○新規就業者育成講座 [1年目] 海洋センター等での講義・実習による、漁業の知識・技術の習得 [2年目] 漁村に定住し、漁業現場で実地研修 ○新規就業者ステップアップ事業 中堅漁業者の経営力向上を目的に、新たな漁業技術や経営ノウハウの習得を支援 ・専門家を招聘し、経営基礎・応用講座・新技術導入等講座を実施 ・兵庫県、福井県の漁業協同組合の先進事例を視察</p> <p>■漁業担い手用漁船・漁具リース事業 1,840,000円 新規漁業者の初期投資費用を軽減し、漁業経営の安定化を図るため、京都府漁業協同組合が行う漁船又は漁具のリース事業を支援(補助率1/3) ※別途、府の直接支援(補助率1/3) ○利用者: 2名(栗田地区漁業者、養老地区漁業者)</p>								
目的 目標	漁業の後継者を育成する実践型研修機関を運営するとともに、新規就業者の漁船・漁具の整備を支援することにより漁業の担い手の育成・確保を図る。			成果	<p>海の民学舎第1期生1名が宮津市内で新たに就業し、第2期生1名が引続き就業に向けて現地研修を行っている。 第1期生2名が、漁業定着に向け宮津市漁業担い手用漁船・漁具リース事業により、就業に必要な漁船・漁具等を整備できた。</p> <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■新規就農就漁者 H30目標: 6人 ⇒ H30実績: 3人(累計6人) (H31目標: 5年間で20人)</p>								
期待される効果	若手漁業者の育成による漁業従事者の確保及び後継者不足の解消、漁村への定住			課題 検証	入舎者数が年々減少しており、その確保が課題								
市民参加の状況				担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626		12				

(単位:円)

事業名	次世代人材育成事業			ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	自立循環型经济社会構 造への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	2. みやづを担う次代の人づくり					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳				R1予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
630 千円	4,629 千円	8,650 千円	10,984,000	9,267,555		231,000		62,000	8,974,555	12,650 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	H27.10: 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本市独自の方針として「みやづを担う次代の人づくり」を設定 H28.8~: 市内高校と連携した人材育成、創業スタートアップセミナー等を実施 H29.11: 宮津市地域おこし協力隊(提案型)3名を委嘱			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■創業家育成セミナーの実施等 495,431円 <ul style="list-style-type: none"> ○創業スタートアップセミナー <ul style="list-style-type: none"> 京都大学経営管理大学院経営研究センターと連携し、起業希望者を支援するため、具体のビジネスプランの構築に至るまでの発想法や、ビジネスモデルの作成を学ぶ講座を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・受講者:10人 ・実施回数:全6日間 ■提案型の地域おこし協力隊の配置 8,742,124円 <ul style="list-style-type: none"> ・提案型地域おこし協力隊員3名を引き続き委嘱 <ul style="list-style-type: none"> 地域団体等の活動支援などの地域協力活動や、起業に向けた実証実験等を実施 ■市内高校との連携事業 30,000円 <ul style="list-style-type: none"> 将来のみやづを担う人材の育成を目的に、市内3高校と連携し、生徒が「しごと」に対して向き合う講座等を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津高等学校 人材育成カリキュラムに参加、生徒の調査研究に協力等 ・海洋高等学校 未利用魚の商品化研究の一環として事業者とのワークショップ等 ・京都暁星高等学校 UIターナーによる地域の魅力や課題等の講義 					
目的 目標	観光産業の振興及び海・里・山の地域資源を活かした内発型産業の創出を具現化するため、自らしごとを生み出す人材の育成を行う。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・創業スタートアップセミナーにおいては、高等教育機関との連携による起業家育成講座を実施し、起業に向けた基礎知識を習得させるとともに、受講者間の仲間づくりにつなげることができた。 ・高校と連携した人材育成事業については、各学校の特色を活かしながら地域の魅力等について学ぶ講座を実施し、生徒が将来の働き方について考える機会を設けた。 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] <ul style="list-style-type: none"> ■起業セミナー等受講者数 (H31目標:5年間で20人) H30目標:5人 ⇒ H30実績:13人(累計:37人) ■地域おこし協力隊員数 (H31目標:5年間で延べ100人) H30目標:15人 ⇒ H30実績:9人(累計:延べ25人) 					
期待される効果	地域資源を活用し自らしごとを生み出す新規起業家や第二創業者を輩出する。			課題 検証	起業家の育成について、関係機関と連携した支援体制の構築が必要					
市民参加の状況				担当部・課・係	企画財政部 企画課 定住・空家対策係 企画財政部 企画課 魅力発信係 産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1607 45-1609 45-1663	13		

事業名	介護人材確保推進事業			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略														
				総合戦略 政策パッケージ	2. みやづを担う次代の人づくり																
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳																
				R1予算																	
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源													
1,586 千円	232 千円	1,500 千円	1,782,000	1,782,000		391,000	1,000,000	391,000	2,500 千円												
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																	
背景 経緯	H27.4: 舞鶴市での福祉専門学校の開設を受け介護福祉士 修学資金貸与制度を創設 H28.3: 京都府北部福祉人材養成システムのもとで総合実 習センター(特養・障害・保育)を整備 H29.9: 総合実習センター開設			事業実績	■介護資格取得研修等受講費補助金 782,000円 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補助金名</th> <th>申請者(人)</th> <th>補助金支給額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護員養成研修受講費補助金(初任者研修)</td> <td>1</td> <td>43,000</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士資格取得講習等受講費補助金(実務者研修)</td> <td>17</td> <td>739,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>782,000</td> </tr> </tbody> </table> ■介護福祉士修学資金 1,000,000円 ・貸付者1人(舞鶴YMCA国際福祉専門学校) ・貸与金額1,000,000円 ■京都府福祉人材養成システムとの連携 [宮津総合実習センター] ・北部福祉フィールドワーク事業: 実人数19人(大学生) ・実習・研修等: 延人数229人(舞鶴YMCA国際福祉専門学校・看護学校ほか) ・ボランティア、授業、見学: 延人数151人(高校生) [福祉人材コーナー] ・福祉・教育総合プラザ内に専用コーナーを設け福祉人材関連情報を発信					補助金名	申請者(人)	補助金支給額(円)	介護員養成研修受講費補助金(初任者研修)	1	43,000	介護福祉士資格取得講習等受講費補助金(実務者研修)	17	739,000	計	18	782,000
	補助金名	申請者(人)	補助金支給額(円)																		
介護員養成研修受講費補助金(初任者研修)	1	43,000																			
介護福祉士資格取得講習等受講費補助金(実務者研修)	17	739,000																			
計	18	782,000																			
目的 目標	・介護福祉士の養成及び人材確保を図る。 ・福祉施設現任者のスキルアップを支援し、多様な福祉 ニーズに対応できる人材育成につなげる。			成果	・介護福祉士などの福祉人材を確保、育成することができた。 ・介護職を目指す若者を掘り起こすことができた。 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■福祉人材育成数 H30目標: 40人 ⇒ H30実績: 38人 (H31目標: 40人)																
期待 される 効果	・介護人材の確保 ・施設介護の充実																				
市民参加 の状況				課題 検証	本市の高齢化率(H31.3末)が41.28%と依然高い状況にある中、支援を必要とされる 高齢者の増加と、介護・福祉の担い手不足の解消が喫緊の課題となっている。																
	担当部・課・係				健康福祉部	社会福祉課	地域福祉係	TEL	45-1618	14											

事業名		魅力あるまち“みやづ”にUIJターン推進事業		ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	3. みやづへ人の流れをつくる					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額		財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	R1予算	
21,364 千円	22,342 千円	25,361 千円	26,984,000	20,189,940	3,281,000	6,288,000		6,121,500	4,499,440	19,044 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<p>少子高齢化や若者の流出などによる急激な過疎化、人口減少が進む中で、都会では地方への移住希望者が増加しているため、本市への定住につなげるUIJターンの仕組みを構築</p> <p>H23.9: みやづUIJターンサポートセンターを設置</p> <p>H27.4: 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置 定住促進などの共同事業を行う。</p> <p>H29.8: 宮津市空き家空地対策協議会を設置</p>			事業実績	<p>■UIJターンサポートセンターの運営等 4,094,105円</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家等情報バンクシステムの運営 UIJターン希望者へ情報提供、相談 移住、交流イベントへの出展 移住希望者向けPRパンフレット等作成 お試し住宅の実施 <p>空き家等登録数 住宅34件 店舗3件 お試し住宅の利用者数 9件</p> <p>空き家等契約成立数 住宅8件 定住実績 12世帯28人</p> <p>■定住支援空き家等改修事業補助金等 9,467,000円</p> <p>空き家等情報バンクシステム登録者で、市内に定住した者に対して空き家等の改修費の一部を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付決定数 12件(うち、移住促進特別区域内 2件) <p>■魅力ある商いのまちづくり支援事業補助金 3,110,000円</p> <p>市内の空き家等を活用して新規出店する事業者に対し改修費等の一部を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付決定数 2件 <p>■京都府北部地域連携都市圏事業負担金 1,452,000円</p> <p>移住意向者の意識等調査、インターネット広告配信、仕事・生活体験を記事化し、ウェブメディアで配信、また、北部7市町合同企業説明会を開催した。</p> <p>■総合的な空き家空地対策の推進 2,066,835円</p> <p>空き家空地対策協議会の運営、管理不全な空き家等の情報提供及び助言、空き家等意向調査を実施した。</p>					
目的 目標	<p>UIJターン希望者の受入推進による定住人口の増加を図るため、「みやづUIJターンサポートセンター」等により本市の魅力と生活環境の良さを広く発信するとともに、空き家等を活用した定住支援を行う。また、「地域とともに空き家をなくす」を基本方針に、所有者等・行政・地域・事業者等が連携、協働して総合的な空き家空地対策を推進する。</p>			成果	<ul style="list-style-type: none"> 本市へのUIJターンを希望する方に対し、空き家等情報の提供、移住相談、空き家見学の対応を積極的に進めた結果、12世帯28人を新たに受け入れることができた。 空き家等情報バンクシステムを通じて市内に移住した方を対象に、空き家等の改修に要した経費の一部を支援し定住につなげた。 <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■UIJターンサポートセンターを通して定住した世帯数</p> <p>H30目標: 20世帯 ⇒ H30実績: 25世帯 (H31目標: 5年間で100世帯)</p> <p>■空き店舗を活用した新規出店数</p> <p>H30目標: 4件 ⇒ H30実績: 2件 (H31目標: 5年間で20件)</p>					
期待 される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏等都市部への情報発信強化による定住世帯の確保 地域(自治会、地域会議)等との連携による空き家等の把握と利活用 			課題 検証	<p>移住希望者のニーズ、選択肢を増やすため、空き家バンク登録物件の掘り起こしを進めるとともに、移住希望者のニーズ把握に努める必要がある。</p>					
市民参加 の状況	<p>京都府任命の「京の田舎暮らしナビゲーター」と連携し、地域と一体となった移住者の受入・サポート体制を構築</p>			担当部・課・係	企画財政部 企画課 定住・空き家対策係 産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1607 45-1663	15		

事業名	市営住宅環境整備事業			ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	3. みやづへ人の流れをつくる					
H28決算	H29決算	H30当初予算 ※前年度繰越含む	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
5,043 千円	108,861 千円	396,202 千円	397,822,000	314,087,657	143,893,000	20,554,057	148,200,000		1,440,600	900,097 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<p>「宮津市公営住宅長寿命化計画(H22.3策定)」に基づき、建物の有効活用や予防保全的な観点から、市営住宅の修繕、建て替え(集約化)、用途廃止等を行い、居住の安定した市営住宅を供給する。</p> <p>※市営住宅整備の主な実績及び計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タヶ丘団地(建替) <ul style="list-style-type: none"> ・H29 基本計画策定地質調査、建物等実施設計 ○東波路団地(改修) <ul style="list-style-type: none"> ・H29 外壁断熱改修工事(A棟) 			事業実績	<p>■タヶ丘団地の建替え 270,768,857円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存住宅の解体及び住宅建設工事 <ul style="list-style-type: none"> ・建物本体工事費等 248,800,000円(H30繰) ・既存建物解体費等 21,968,857円 <p>※H30年度建設工事費予算 82,300千円はR1年度へ繰越</p> <p>■東波路団地の外壁断熱改修 43,318,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○居住環境の向上と施設の長寿命化のための外壁断熱改修(B棟) <ul style="list-style-type: none"> ・外壁断熱改修実施設計 842,400円 ・外壁断熱改修工事 42,476,400円 					
目的 目標	<p>市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため、若者・子育て世帯や高齢者が安心して暮らすことができる住生活の実現を図る。</p>			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・低廉で質の高い住環境の整備 ・断熱効果の向上による良好な住環境の確保 					
期待される効果	<p>低廉で質の高い住宅の確保と提供により、安心して暮らせる生活基盤の充実、若年層の市内定住の動機付け。</p>									
市民参加の状況	<p>■タヶ丘団地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会によるタヶ丘公営住宅建設推進委員会の設置、開催 ・住宅の配置、間取り、跡地利活用等について、入居者、地元自治会と協議 			課題 検証	<p>■タヶ丘団地 住宅施設周辺エリアの有効な利活用の検討</p> <p>■既存住宅 計画に基づく長寿命化</p>					
				担当部・課・係	建設部 都市住宅課 建築住宅係	TEL	45-1631	16		

事業名	結婚から出産までのトータルサポート (婚活支援事業、妊活支援事業、出産安心サポート事業)			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略							
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算				
				国庫支出金					府支出金	市 債	その他	一般財源		
9,268 千円	9,416 千円	8,700 千円	8,701,000	7,421,330	417,351	297,153		1,200	6,705,626	8,752 千円				
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容										
背景 経緯	<p>現代社会において、「未婚化」、「晩婚・晩産化」が進んでおり、それに歯止めをかけるためにも、若い世代が結婚から出産、子育てに至るまでの希望を実現できる環境づくりが必要。 ※生涯未婚率 (H27国調) 男性: 26.95% 女性: 13.09%</p>			事業実績	<p>■婚活イベント等の開催に対する支援 160,000円 ○婚活イベントへの支援 婚活イベントを行う団体に対し、イベント開催経費の一部を支援。 交付決定数 3件 (ヴァリアント、養老地域会議、ハマカゼプロジェクト) ■妊娠を望む夫婦に対する支援 181,957円 ○一般不妊治療等助成金 医療保険適用の不妊治療等を受けられた方へ助成金を交付。(10件 181,957 円) ■妊娠期から出産までの幅広い支援 7,079,373 円 ○妊産婦訪問 出産や育児に不安を抱えている妊産婦を対象に訪問・相談を行い不安解消を図った。 (10人の妊産婦に対して訪問) ○妊産婦健康診査助成 妊婦健診 受診者141人・延べ受診回数941回・助成額6,059,780円 産婦健診 受診者29人・延べ受診回数47回・助成額235,000円 ○パパママ学級 口腔ケア、妊婦疑似体験、育児指導 (3回開催 20人参加) ○養育医療費助成 未熟児の養育医療費等に係る助成 (1人 助成額601,903円) ○新生児訪問 出生後2か月頃に家庭訪問し、母子の健康状態の確認を行った (90人訪問) ○産後ケア事業 利用なし ※産婦健診、産後ケア事業はH30年9月から事業開始したもの。</p>									
目的 目標	結婚から出産までの過程をトータルで切れ目なく支援することで、若い世代の結婚・出産の希望がかなう環境を整え、若者定住、地域活性化を図る。			成果	<p>・婚活イベントへの支援をすることで、市内の未婚者に対し、出会いの機会を創出することができた。 ・母子健康手帳交付時の面接や産婦健診等により、早期に支援が必要な方を把握することで、早い段階からの支援につなげることができた。</p> <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■年間出生数 H30目標: 130人 ⇒ H30実績: 92人 (H31目標: 130人) ■婚活イベントによるカップリング数 H30目標: 5組 ⇒ H30実績: 16組 (H31目標: 5年間で24組)</p>									
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・婚姻率の向上 ・合計特殊出生率の向上 			課題 検証										
市民参加の状況	<p>市内の婚活イベント実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市民実践活動センター (H21~) ・養老地域会議 (H25~) ・上宮津21夢会議 (H24. 25. 27) ・天橋立観光協会 (H27) 			担当部・課・係	企画財政部 企画課 定住・空家対策係 健康福祉部 健康・介護課 健康増進係	TEL	45-1607 45-1624	17						

事業名	地域子育て支援事業			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
11,496 千円	15,752 千円	15,059 千円	15,059,000	15,004,353	4,927,000	4,923,000		2,000,000	3,154,353	15,912 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	H29.11:従来の「宮津市子育て支援センター(亀ヶ丘保育園内)」と「島崎げんきっこひろば(みやづふれあい交流館内)」を統合し、宮津阪急ビル内に子育て支援センター「にっこりあ」を開設するとともに利用者支援事業を開始した。			事業実績	<p>■地域子育て支援拠点施設(にっこりあ)の運営 14,563,000円 宮津阪急ビル内において地域子育て支援拠点施設の運営を継続実施し、親子の交流促進を図るとともに、子育てに係る相談支援を行った。 ・子育て支援センターにっこりあ利用者数:保護者20,220人、子ども22,046人、計42,266人 ・利用者支援事業:相談者数173人</p> <p>■「おでかけベップ」及び「年長ベップ」の運営 123,252円 エア遊具等を設置する「おでかけベップ」及び就学前児童の交流機会となる「年長ベップ」を開催し、子どもの遊び場及び子育て世帯の交流の場を提供した。 ・おでかけベップ1回(府中子ども園)保護者16人、子ども20人、計36人 ・年長ベップ 1回(市民体育館)保護者67人、子ども104人、計171人</p> <p>■ファミリー・サポート・センターの運営 207,293円 会員相互の育児に関する援助活動を行い、安心して子育てができる環境の整備と地域の子育てを支援した。 ・H31.3月末会員数:おねがい会員64人、まかせて会員47人、両方会員3人</p> <p>■子育て応援情報誌の発行 110,808円 子育てに関連する様々なサービスや支援制度を周知するための情報誌を発行し、市内の保育施設等に配架するほか、母子手帳交付時や健診時に配布を行った。</p>					
目的 目標	子どもを育てることに楽しさを感じられる環境づくり及び地域ぐるみでの子育て支援をより積極的に推進する。			成果	<p>利便性の高い商業施設内に地域子育て支援拠点施設を整備したことにより利用者数が大きく増加するとともに、子育て世帯の身近な場所で利用者支援事業などのきめ細かな相談・支援を実施し、安心して子育てができる環境づくりが進められた。</p> <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■年間出生数 H30目標:130人 ⇒ H30実績:92人 (H31目標:130人)</p> <p>■子育て支援センター等利用者数 H30目標:5,000人 ⇒ H30実績:42,266人 (H31目標:5,100人)</p>					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の育児負担、不安の解消 ・母子の健全な心身の育成と健康保持 									
市民参加 の状況	「おでかけベップ」等の運営への市民ボランティア(高校生、子育て経験者、市内事業所)の参加			課題 検証						
	担当部・課・係				健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	45-1621		18	

事業名		認定こども園整備事業			ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ		4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
H28決算	H29決算	H30当初予算	H30最終予算額	H30決算額	財 源 内 訳					R1予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	— 千円	5,074,000	5,074,000	3,383,000		1,600,000		91,000	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H24.4:府中保育所から府中保育園へ民営化(運営法人:社会福祉法人みねやま福祉会) ・H28.4:府中保育園から幼保連携型認定こども園 府中子ども園へ移行 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■認定こども園整備事業 5,074,000円 社会福祉法人が行う府中子ども園施設整備(トイレ洋式化)への支援 総事業費 7,689,600円 補助対象経費 6,766,848円(総事業費×44人(2・3号定員)/50人) 補助率3/4(国1/2、市1/4) 【整備内容】 幼児用及び職員用トイレの洋式化(洋式6基・小便器4基) シャワースペース、流しの増設 					
目的 目標	府中子ども園の和式トイレを洋式トイレに改修し、保育・教育環境の向上を図る。			成果	市内全保育施設において洋式トイレ化が完了し、保育・教育環境の向上が図られた。					
期待される効果	市内全保育施設の洋式トイレ化が完了し、良好な保育環境が整う。									
市民参加 の状況				課題 検証						
				担当部・課・係	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	45-1621	19		